

周南市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査及び
在宅介護実態調査に関する報告書
(抜粋版)

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果	1
	介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	1
	在宅介護実態調査に関する調査	13

令和5年7月

周 南 市

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第10次老人保健福祉計画」及び「第9期介護保険事業計画」にて、地域の実情や特性を生かした計画を作成することを目的に実施しました。

2 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：周南市在住の65歳以上を無作為抽出

在宅介護実態調査：市の認定調査員により聞き取り調査

3 調査期間

令和5年5月

4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2000 通	1,425 通	71.3%
在宅介護実態調査	600 通	353 通	58.8%

II 調査結果

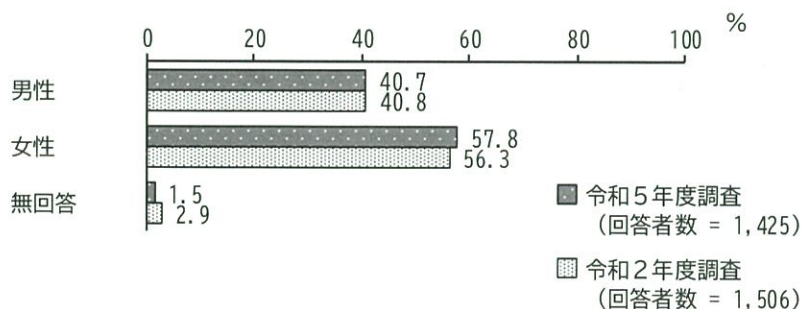
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 性別

「男性」の割合が40.7%、「女性」の割合が57.8%となっています。

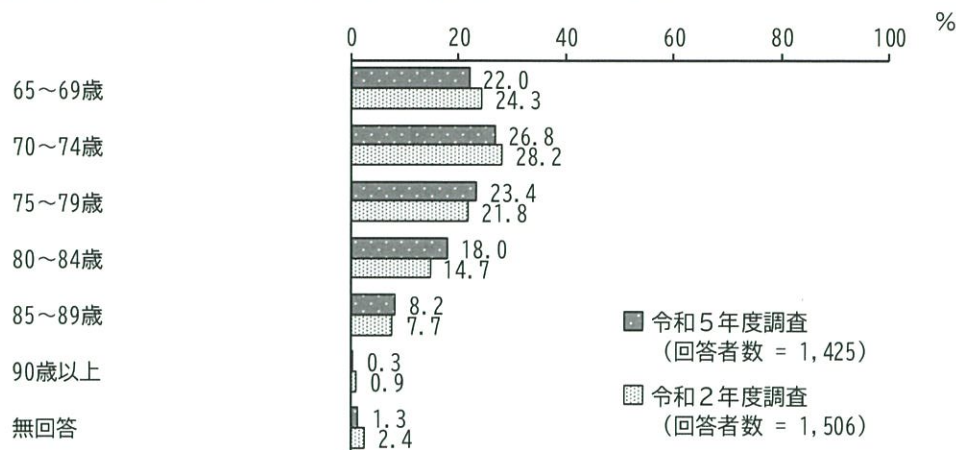
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 年齢

「70～74歳」の割合が26.8%と最も高く、次いで「75～79歳」の割合が23.4%、「65～69歳」の割合が22.0%となっています。

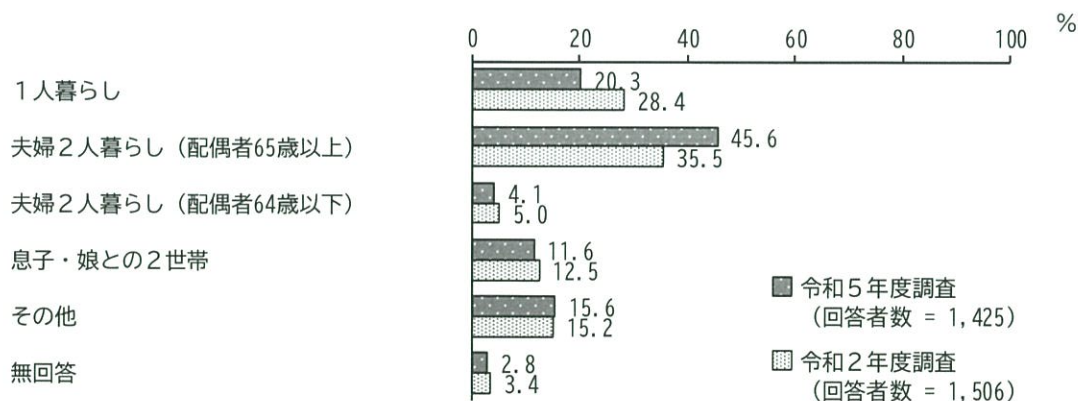
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) 家族構成をお教えてください

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が45.6%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が20.3%、「息子・娘との2世帯」の割合が11.6%となっています。

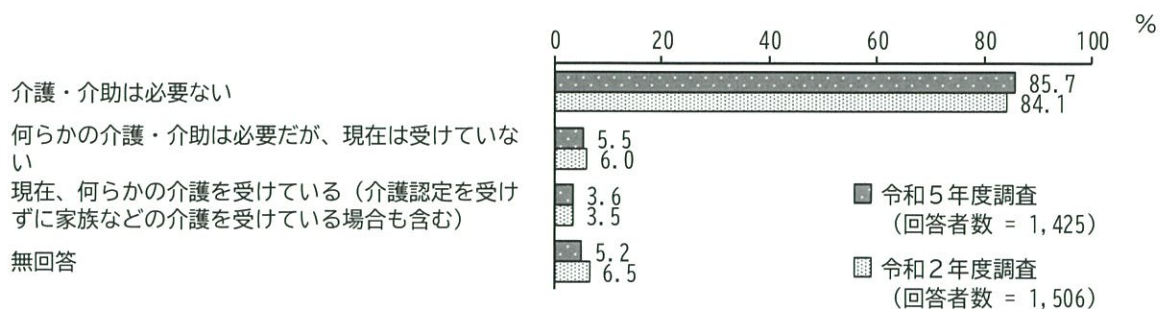
令和2年度調査と比較すると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が増加しています。一方、「1人暮らし」の割合が減少しています。



(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」の割合が85.7%と最も高くなっています。

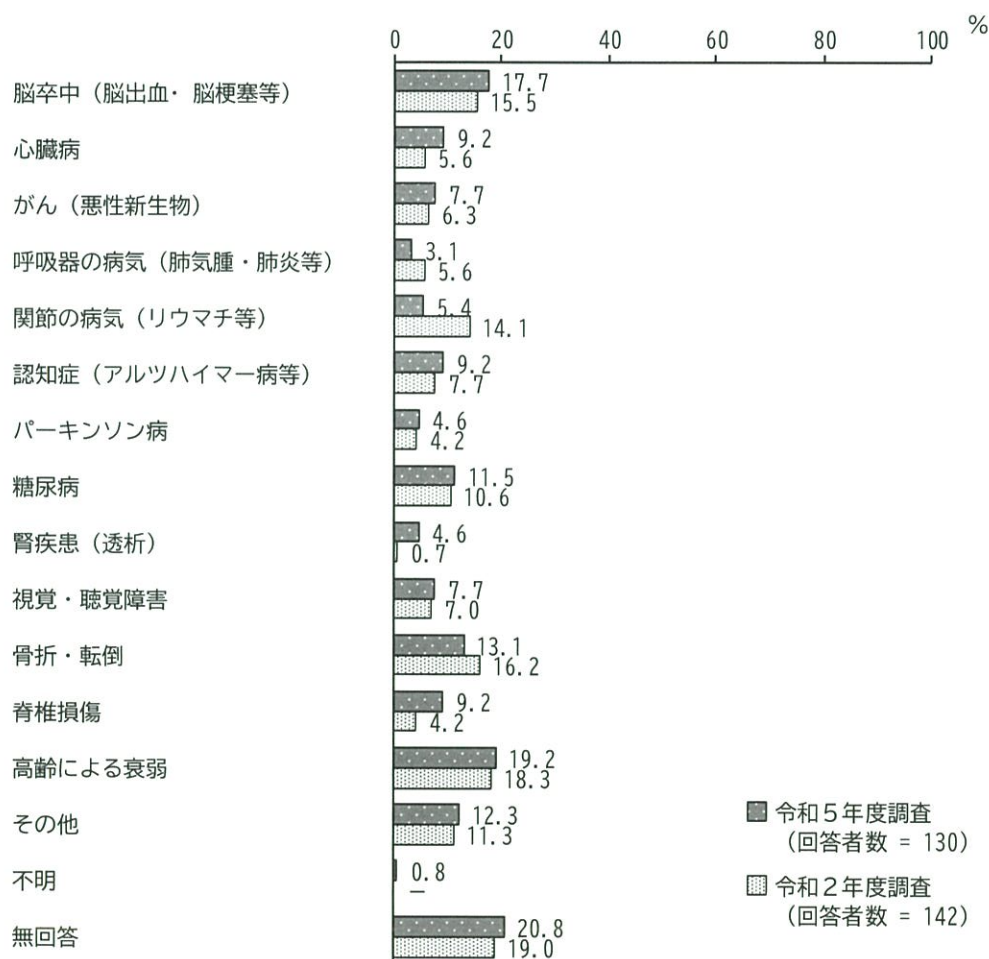
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」の割合が19.2%と最も高く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が17.7%、「骨折・転倒」の割合が13.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「関節の病気（リウマチ等）」の割合が減少しています。

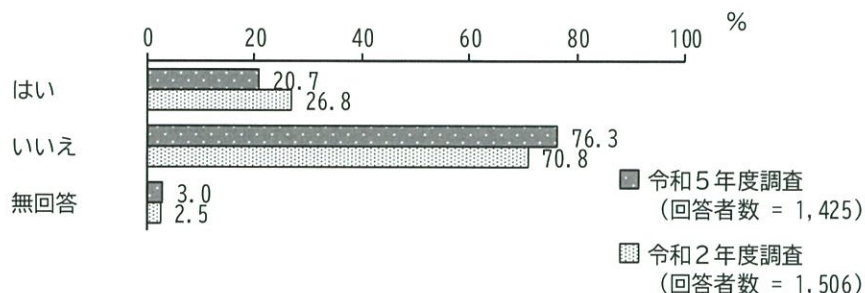


問2 からだを動かすことについて

(8) 外出を控えていますか

「はい」の割合が20.7%、「いいえ」の割合が76.3%となっています。

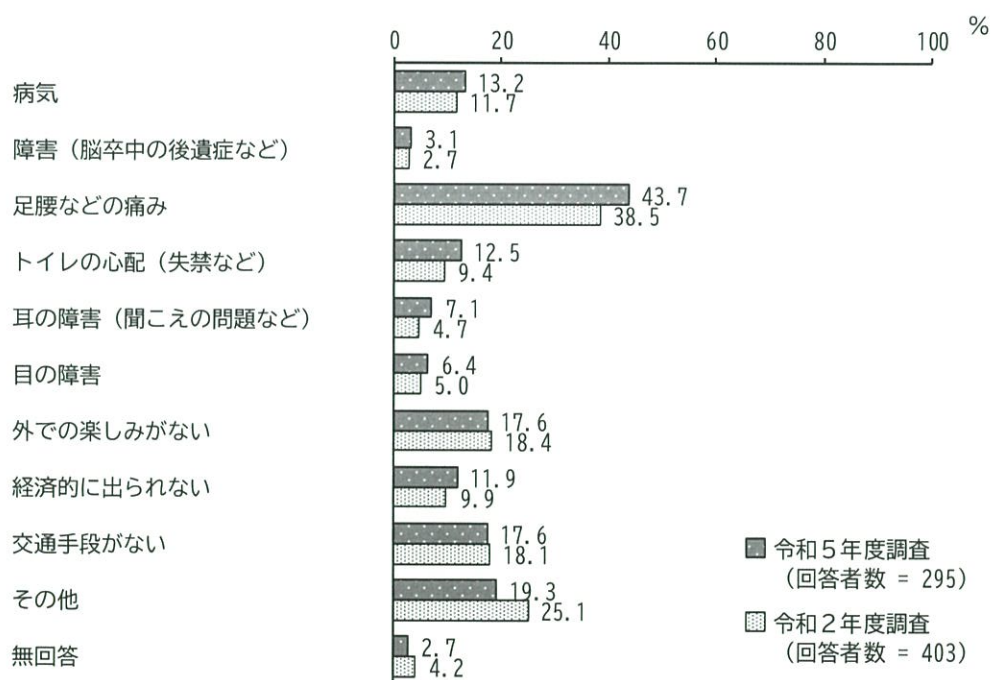
令和2年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。



①外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

「足腰などの痛み」の割合が43.7%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」、「交通手段がない」の割合が17.6%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「足腰などの痛み」の割合が増加しています。

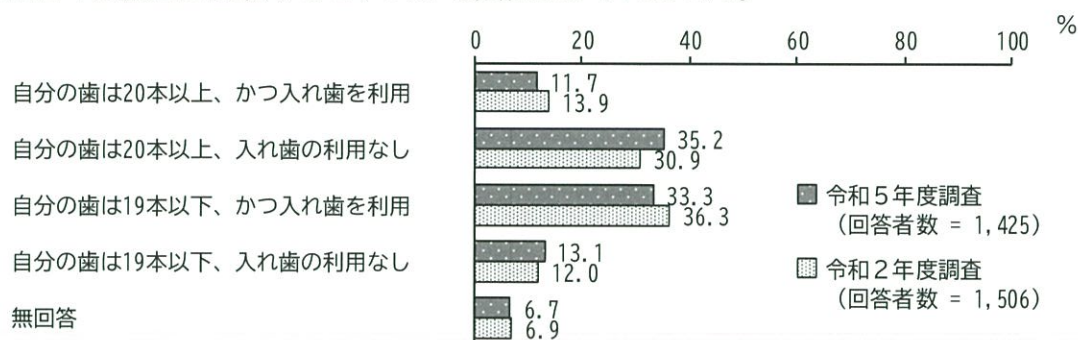


問3 食べることについて

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 33.3%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が 13.1%となっています。

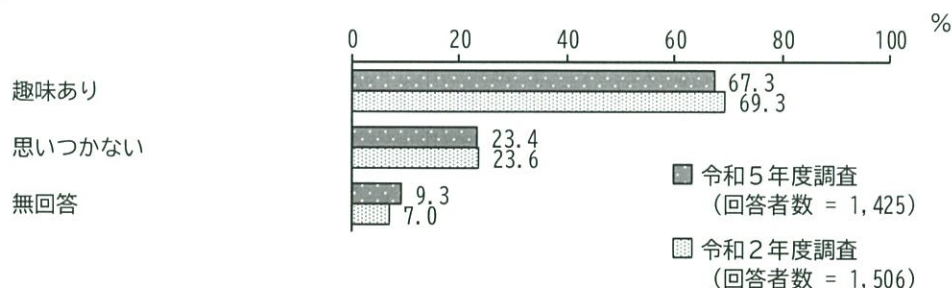
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 毎日の生活について

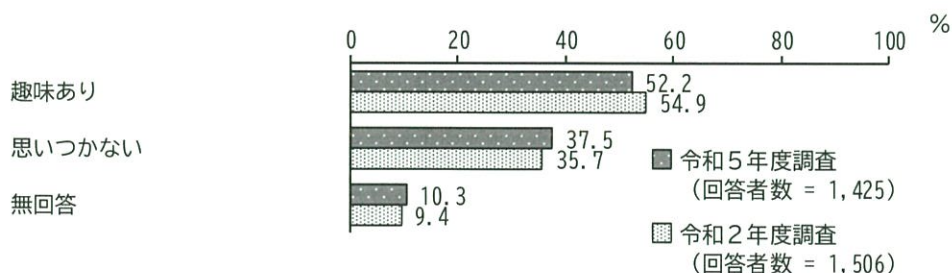
(17) 趣味はありますか（ある場合は具体的に）

「趣味あり」の割合が 67.3%、「思いつかない」の割合が 23.4%となっています。
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(18) 生きがいがありますか（ある場合は具体的に）

「趣味あり」の割合が 52.2%、「思いつかない」の割合が 37.5%となっています。
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください

他に比べ、『③ 趣味関係のグループ』で「月1～3回」の割合が、『⑦ 町内会・自治会』で「年に数回」の割合が高くなっています。

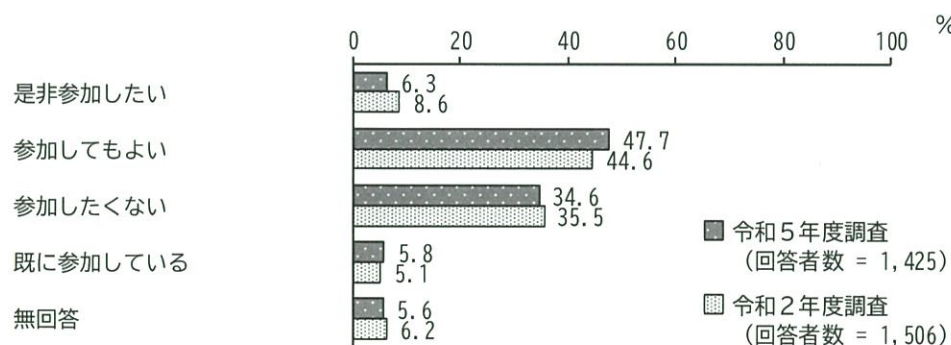
単位：％

	全 体	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
① ボランティアのグループ	1425	0.6	1.1	1.2	3.9	6.3	59.6	27.2
② スポーツ関係のグループやクラブ	1425	2.7	5.6	4.6	3.7	2.0	56.0	25.4
③ 趣味関係のグループ	1425	1.5	3.4	5.2	10.4	3.9	52.3	23.3
④ 学習・教養サークル	1425	0.3	1.0	1.2	3.5	2.5	62.5	29.1
⑤ いきいき百歳体操、ふれあい・いきいきサロンなど介護予防のための通いの場	1425	1.0	0.9	4.1	3.2	2.4	63.0	25.3
⑥ 老人クラブ	1425	0.2	0.4	0.5	1.2	3.1	65.8	28.8
⑦ 町内会・自治会	1425	0.8	0.4	0.4	4.4	29.9	38.6	25.4
⑧ 収入のある仕事	1425	13.1	5.5	2.0	2.0	1.7	51.2	24.6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」の割合が47.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が34.6%となっています。

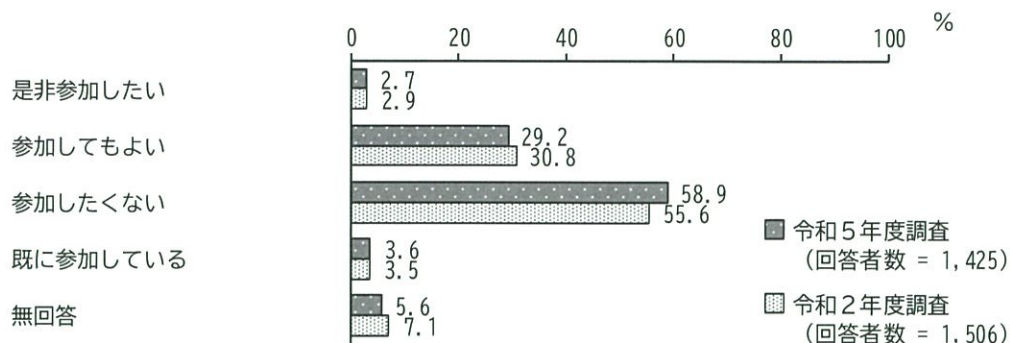
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 29.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

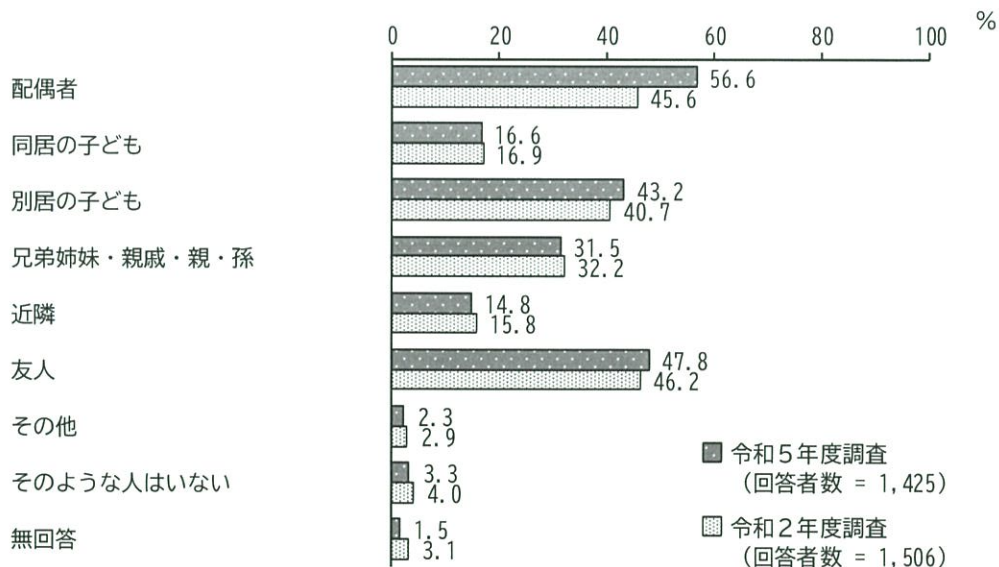


問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が 47.8%、「別居の子ども」の割合が 43.2%となっています。

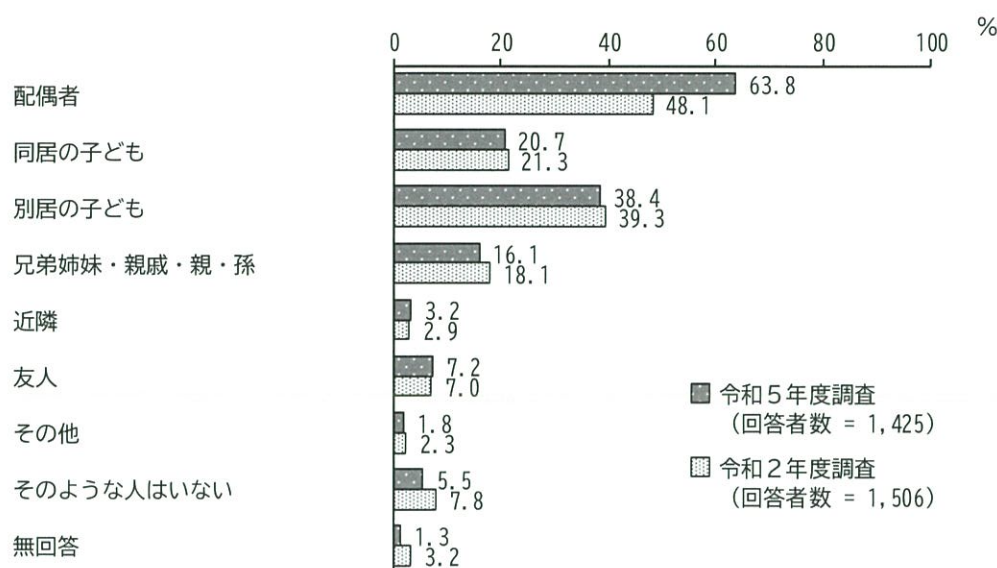
令和2年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が増加しています。



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が63.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が38.4%、「同居の子ども」の割合が20.7%となっています。

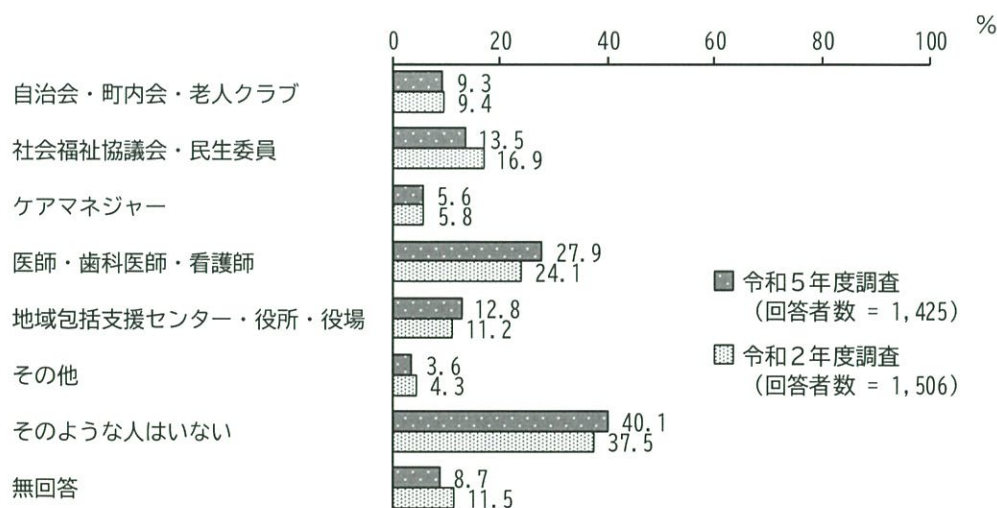
令和2年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が増加しています。



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「そのような人はいない」の割合が40.1%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が27.9%、「社会福祉協議会・民生委員」の割合が13.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

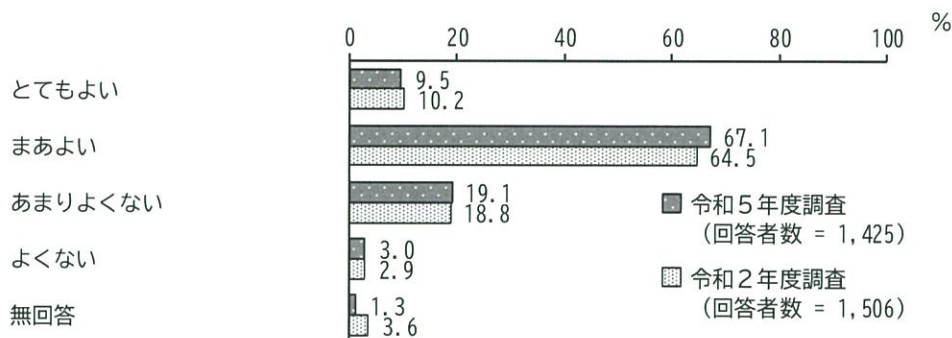


問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」の割合が67.1%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が19.1%となっています。

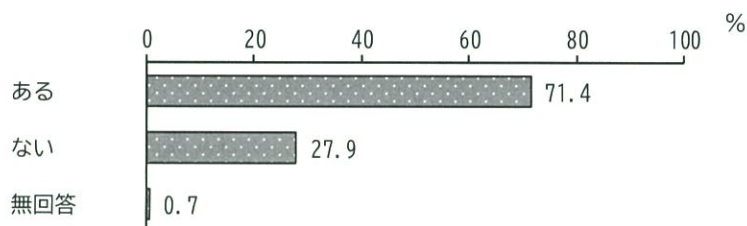
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) あなたは過去3年間に健康診断を受けたことがありますか。(がん検診や病院・診療所で行う診療としての診査を除く)

「ある」の割合が71.4%、「ない」の割合が27.9%となっています。

回答者数 = 1,425

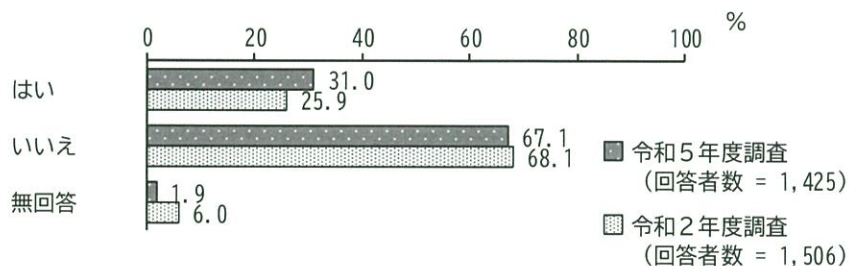


問8 認知症について

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」の割合が31.0%、「いいえ」の割合が67.1%となっています。

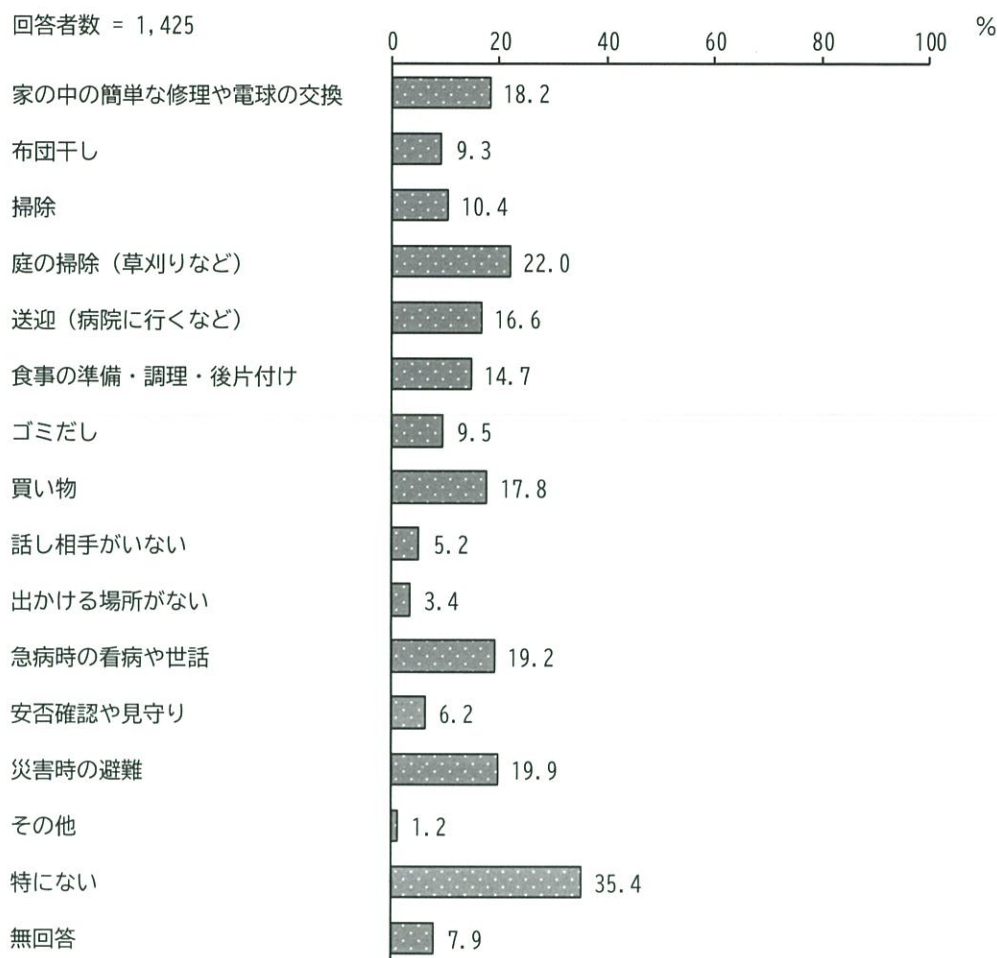
令和2年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



問9 毎日の生活について

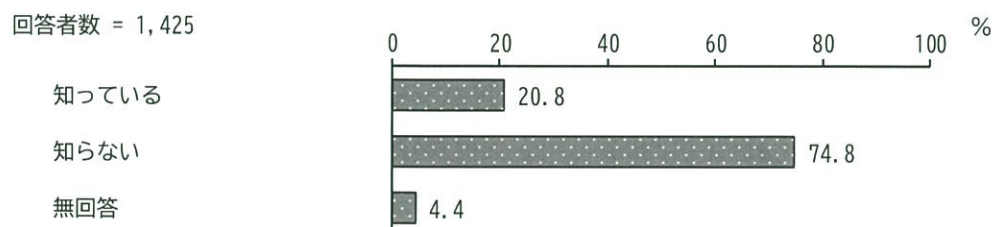
(1) あなたの今後の日常生活で、困りそうなことや心配なことがありますか（いくつでも）

「特にない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「庭の掃除（草刈りなど）」の割合が 22.0%、「災害時の避難」の割合が 19.9%となっています。



(3) 家事や外出する際などのちょっとした困りごとを住民同士で助け合う活動（おたすけ隊等の有償ボランティア活動）があることを知っていますか

「知っている」の割合が 20.8%、「知らない」の割合が 74.8%となっています。

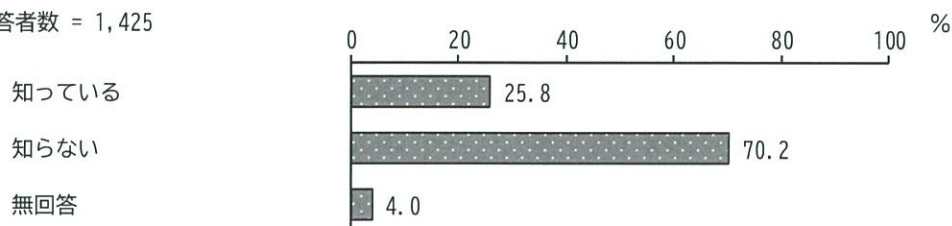


問 10 フレイルについて

(1) フレイル（健康な状態と要介護状態の中間に位置し、心身の機能低下がみられる状態）という言葉を知っていますか

「知っている」の割合が 25.8%、「知らない」の割合が 70.2%となっています。

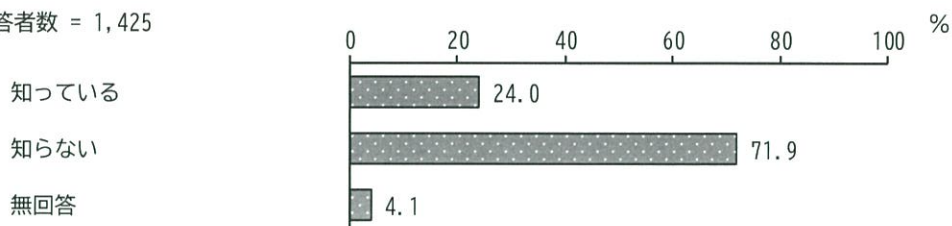
回答者数 = 1,425



(2) フレイルになっても適切な対策（身体活動、社会参加、栄養など）をとれば、元の状態に戻れることを知っていますか

「知っている」の割合が 24.0%、「知らない」の割合が 71.9%となっています。

回答者数 = 1,425

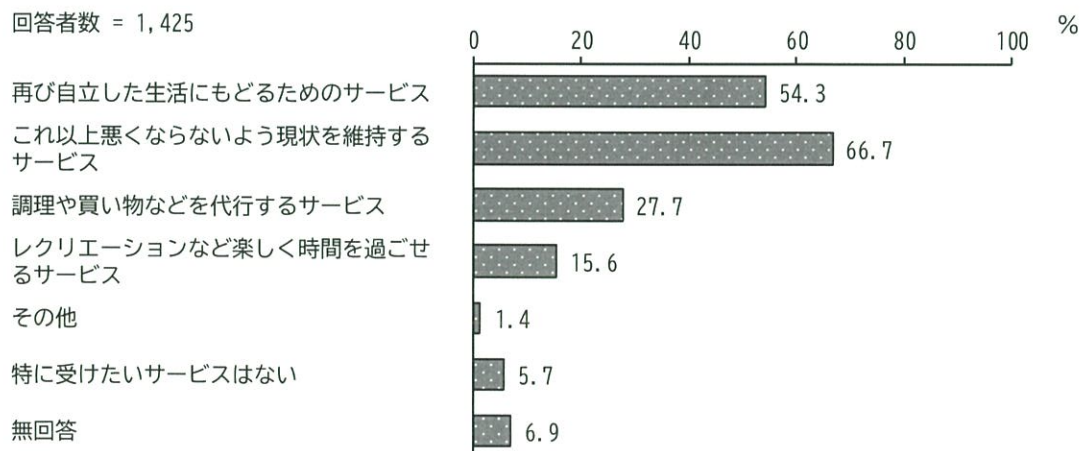


問 11 医療や介護について

(1) もしも、フレイル（加齢による虚弱）や要介護状態になったら、あなたはどのようなサービスを受けたいですか（いくつでも）

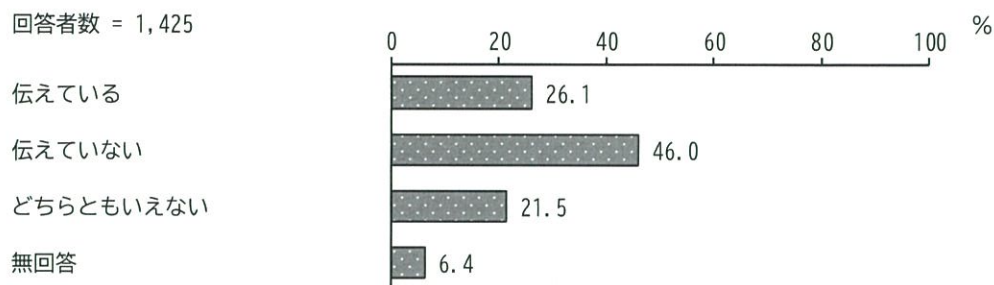
「これ以上悪くならないよう現状を維持するサービス」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「再び自立した生活にもどるためのサービス」の割合が 54.3%、「調理や買い物などを代行するサービス」の割合が 27.7%となっています。

回答者数 = 1,425



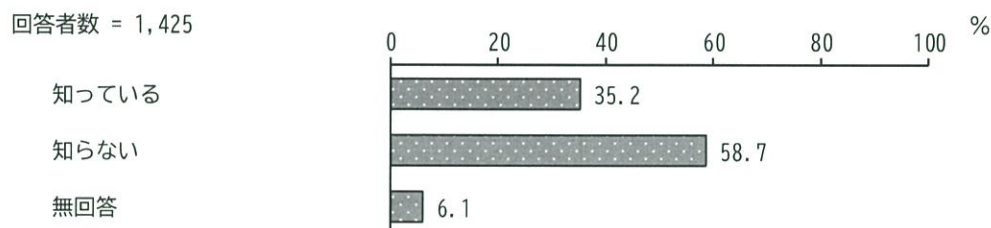
(3) 人生の最終段階の医療や介護の希望を家族（必要に応じて医療・介護関係者）に伝えたり、話し合ったりしていますか

「伝えていない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「伝えている」の割合が26.1%、「どちらともいえない」の割合が21.5%となっています。



(4) 最寄りの地域包括支援センター（いきいきさぽーと）で、介護や認知症など、高齢者の困りごと全般について相談できることを知っていますか

「知っている」の割合が35.2%、「知らない」の割合が58.7%となっています。



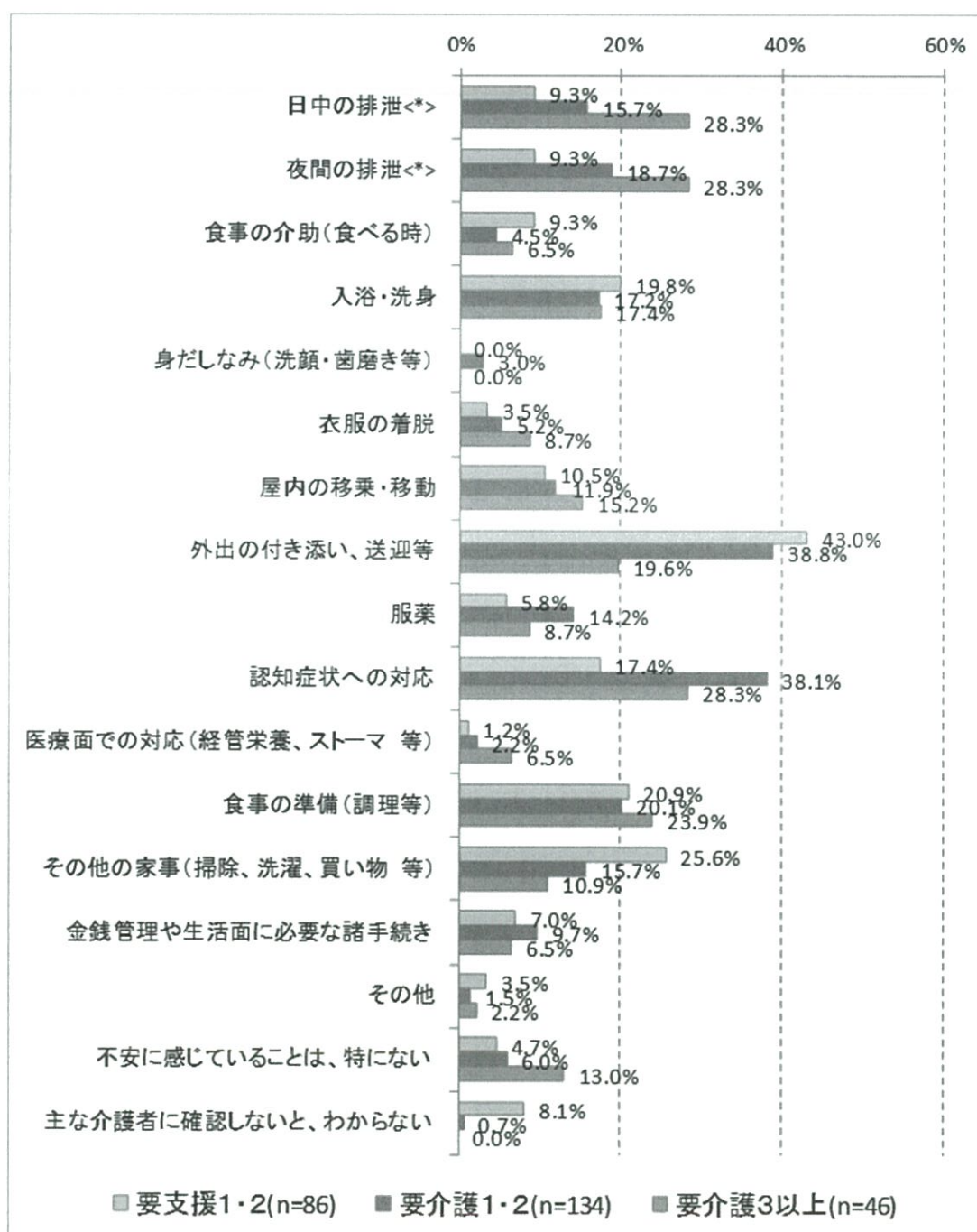
在宅介護実態調査に関する調査

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

要介護度別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が43.0%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が25.6%、「食事の準備（調理等）」が20.9%となっています。「要介護1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が38.8%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が38.1%、「食事の準備（調理等）」が20.1%となっています。「要介護3以上」では「日中の排泄」が28.3%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が23.9%、「外出の付き添い、送迎等」が19.6%となっています。

図表 4-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護

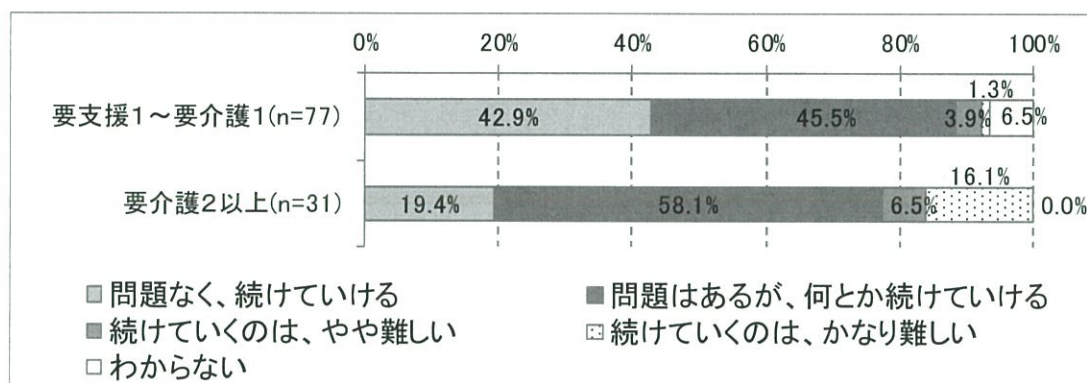


2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

要介護度別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が45.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が42.9%、「わからない」が6.5%となっています。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が58.1%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が16.1%となっています。

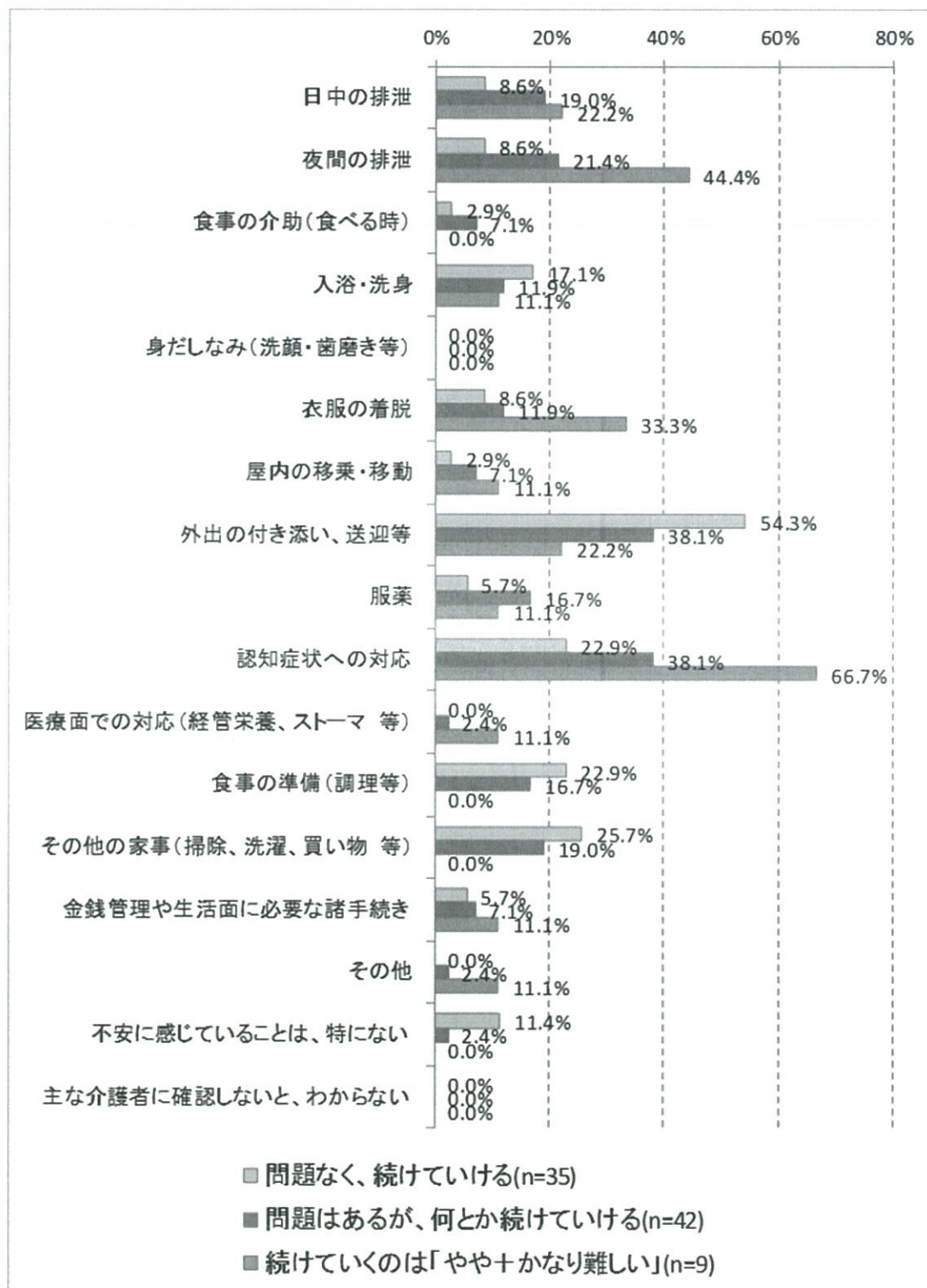
図表 5-10 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

就労継続見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が54.3%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が25.7%、「認知症状への対応」が22.9%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が38.1%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が21.4%、「日中の排泄」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が19.0%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「認知症状への対応」が6件、次いで「夜間の排泄」が4件、「衣服の着脱」が3件となっています。

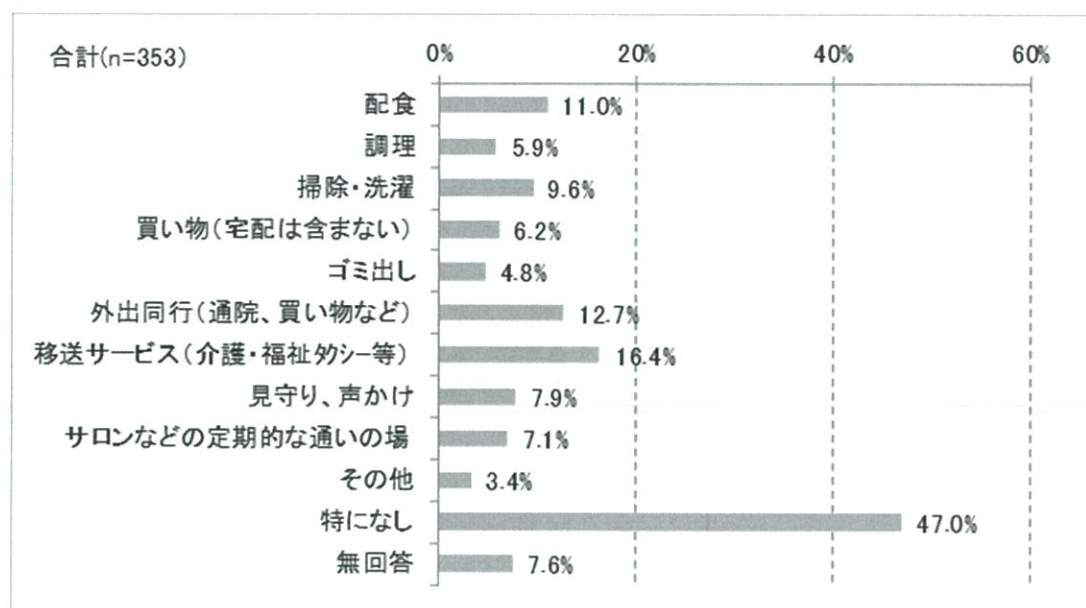
図表 5-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

「特になし」の割合が最も高く 47.0%となっています。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（16.4%）」、「外出同行（通院、買い物など）（12.7%）」となっています。

図表 6-2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

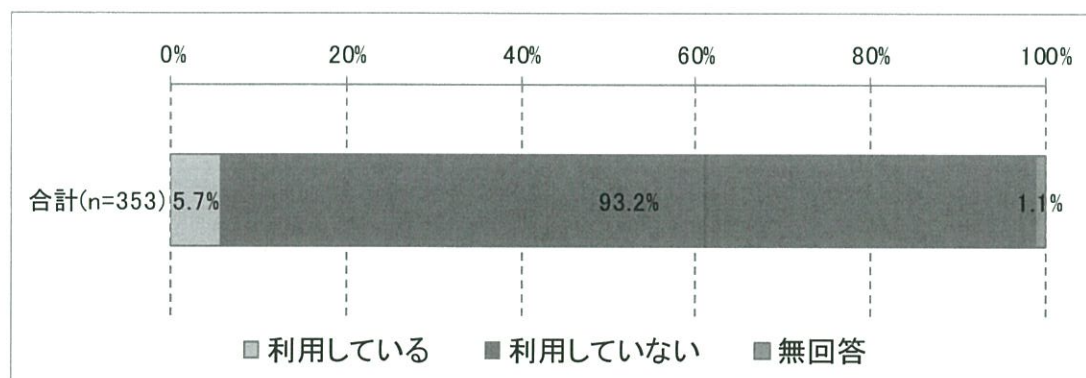


4 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 93.2%となっています。次いで、「利用している (5.7%)」となっています。

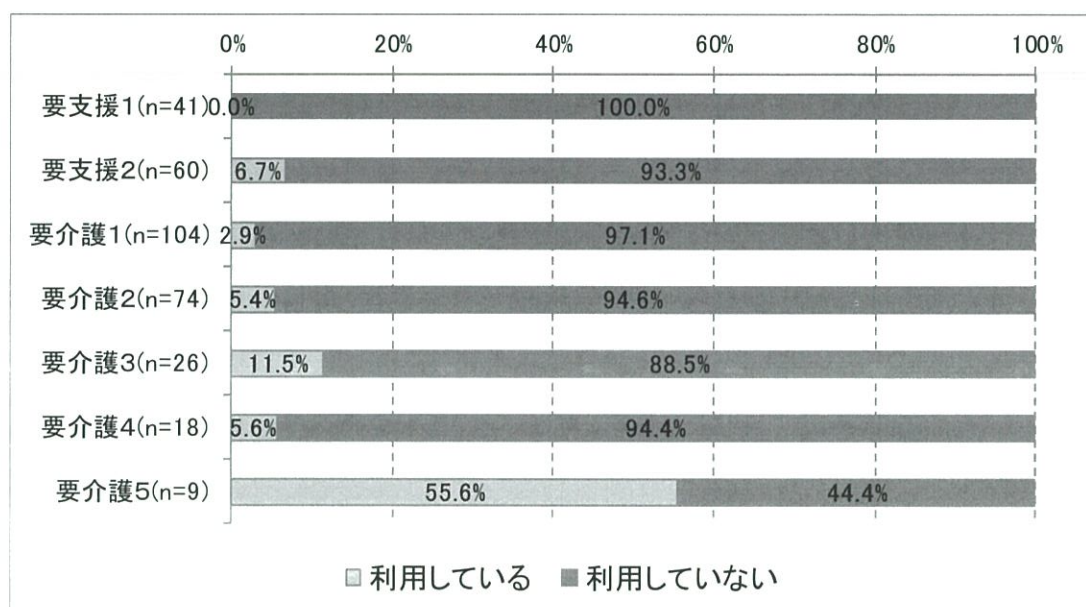
図表 8-4 診療の利用の有無



【要介護度別】

要介護度別にみると、「要支援1」では「利用していない」が100.0%となっています。「要支援2」では「利用していない」が93.3%と最も割合が高く、次いで「利用している」が6.7%となっています。「要介護1」では「利用していない」が97.1%と最も割合が高く、次いで「利用している」が2.9%となっています。「要介護2」では「利用していない」が94.6%と最も割合が高く、次いで「利用している」が5.4%となっています。「要介護3」では「利用していない」が88.5%と最も割合が高く、次いで「利用している」が11.5%となっています。「要介護4」では「利用していない」が94.4%と最も割合が高く、次いで「利用している」が5.6%となっています。「要介護5」では「利用している」が5件、次いで「利用していない」が4件となっています。

図表 8-6 要介護度別・訪問診療の利用割合

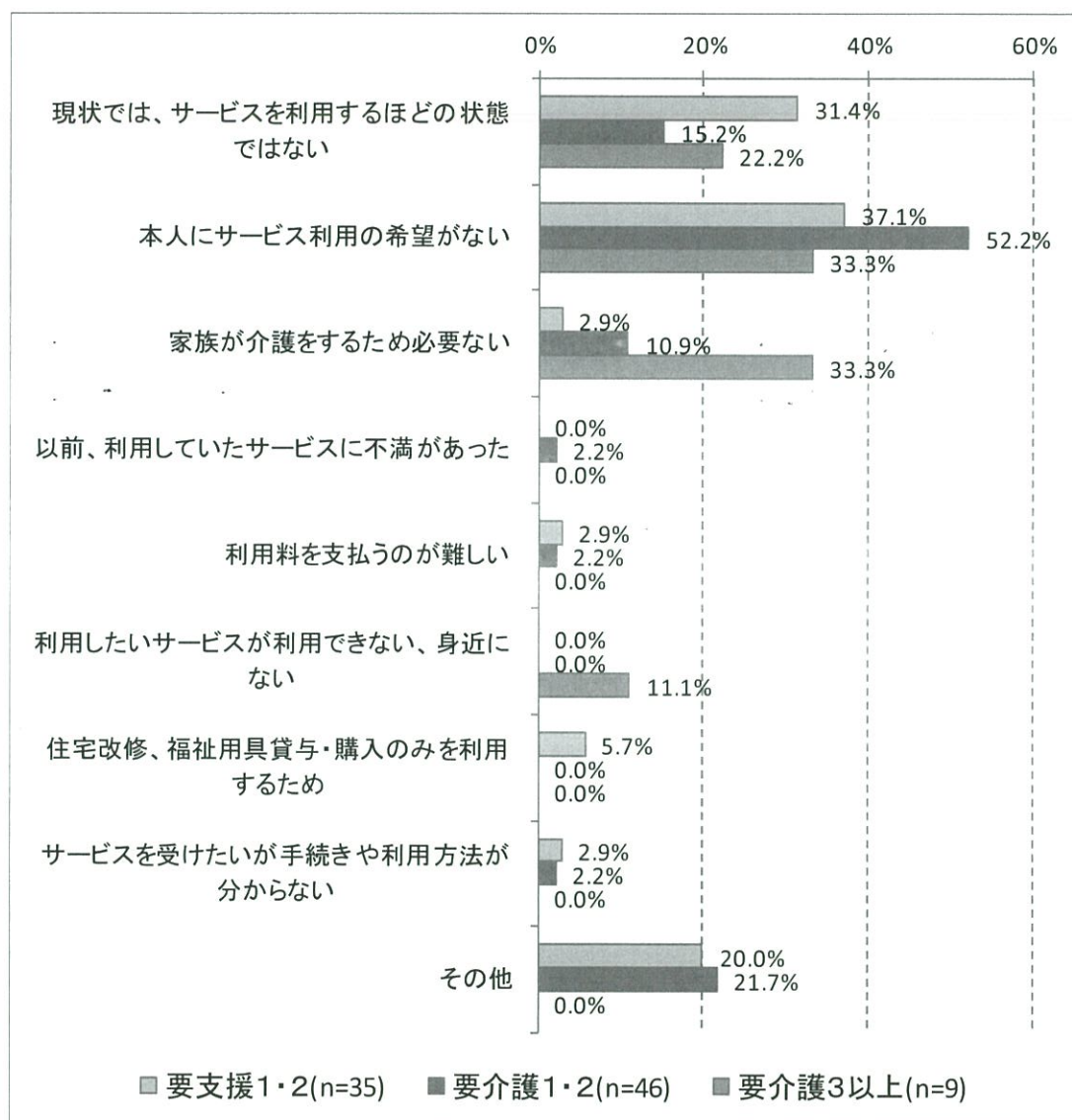


5 サービス未利用の理由

サービス未利用の理由

要介護度別にみると、「要支援1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が37.1%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.4%、「その他」が20.0%となっています。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が52.2%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が15.2%となっています。「要介護3以上」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が22.2%となっています。「要介護3以上」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が22.2%となっています。「要介護3以上」では「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が22.2%となっています。

図表 9-1 要介護度別のサービス未利用の理由



6 その他

主な介護者の年齢

本人の年齢別にみると、「65歳未満」では「70歳代」が3件、次いで「50歳代」、「60歳代」が2件、「40歳代」が1件となっています。「65～69歳」では「60歳代」、「70歳代」が40.0%と最も割合が高く、次いで「40歳代」が20.0%、「40歳未満」、「50歳代」、「80歳以上」が0.0%となっています。「70歳代」では「70歳代」が53.3%と最も割合が高く、次いで「40歳代」、「60歳代」が16.7%、「80歳以上」が6.7%となっています。「80歳代」では「50歳代」が34.4%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が27.5%、「80歳以上」が21.3%となっています。「90歳以上」では「60歳代」が53.2%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が26.0%、「80歳以上」が10.4%となっています。

図表 9-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢

